

さうすりんぐ Tokushima

さうすりんぐTokushimaは、徳島外環状道路のうち、国府町観音寺から八万町大野まで9.5kmの「徳島南環状道路」の工事概要とエリアの情報をおとどけする情報誌です。

7月号
(奇数月発行)
Take Free
vol.12

新町川は環境改善の旗印。美しい風景に美しい心が生まれます。

ひょうたん島クルーズ



徳島市は、138の川が流れる水の都。その中でも新町川と助任川は、市の中心部を流れる川として市民から愛されてきました。しかし、都市の拡大と共に、一時は悪臭が漂うほどまで汚っていました。こうした状況を改善し、市民にも一度愛される美しい新町川を取り戻そうと活動を始めたのが、NPO法人「新町川を守る会」です。現会長を務める中村さんを中心に、10人ほどで始まった新町川浄化活動は、徐々に参加者が増え、現在では会員数も260名を越えるほどに成長しています。しかし、この「新町川を守る会」の発足当時は、この活動を人ごとのように傍観する市民がほとんど。そのような市民の意識を活動を続けることによって少しずつ変えていき、遂には共感を得て活動に参加してもらえるようになりました。

現在、この活動の象徴的となっているのが「ひょうた

ん島クルーズ」です。新町川と助任川の間に浮かぶ通称「ひょうたん島」を周遊するクルーズで、乗船料無料(但し保険料100円)で乗船することができます。水上から町を眺め、水の都徳島の素晴らしさや川環境の大切さを実感してもらうのがその狙い。垣根を低くし「できる人が、できる時に、できることを」「一人の百歩より百人の一歩」という会の考え方を市民の間に広げ、参加者を増やすための広報活動とも言えます。私もこの活動に参加してみたいと思っていたら、まず「ひょうたん島クルーズ」を体験してみるといいでしょう。また、散歩がてらに町のゴミをひとつ拾うだけでも、この活動に参加していることになるかもしれません。「できる人が、できる時に、できることを」。この意識を持つことが、この活動に参加することのように感じました。



7月15日(日)~8月20日(月)まで、新町川に架かる7つの橋の下にアート作品がズラリ勢揃い。徳島を代表する画家・飯原一夫氏のノスタルジックな作品や、3千枚以上の点数を組み合わせたモザイクアートなど、テーマ別にそれぞれの橋に展示されます。

また、7月16日(祝)は『トクシマ橋の下美術館』の開幕式として、「水辺のアートフェスティバル」を新町川水際公園で開催。NHK交響楽団をはじめ、風鈴・うちわの手作り体験ブース、お化け屋敷の「ムンクの叫び」ブースが登場するなど、賑やかに繰り広げられます。

ひょうたん島クルーズと一緒に、徳島ならではの魅力的なアートを存分に満喫してください。

トクシマ 橋の下美術館

ひょうたん島の
遊覧船から
橋の下アートを鑑賞

●DATA

◆主催/(社)徳島青年会議所
徳島市西新町2丁目5経済センター4F
088-623-1478
<http://www.topics.or.jp/artproject/>



料金受取人払
徳島中央局
承認
400

差し出し有効期限
平成19年11月1日
まで(切手不要)

切り取り線

郵便はがき

7 7 0 8 7 0 3

さうすりんぐTokushima 係 行
(7月号・Vol.12)



お名前 _____

(歳)

ご住所 _____

お電話番号() -

※お客様の個人情報は、商品の発送やご連絡のために使用いたしますが、
第三者に提供することはございません。

徳島南環状道路 工事ピックアップ

法花谷地区の工事現場 2つをピックアップ!



法花谷改良工事

平成18~19年度工事
工期:19年11月30日まで

箱型の水路と道路は、より豊かに田畠を潤すための秘密のトンネル

佐々木建設株式会社がメインで手掛けている工事は「ボックスカルバート工」。さて、ボックスカルバートとは一体なに?ということで、工事用語辞典を開いてみると、「盛土の中を横断する長方形、円形、半円形等のスパンの短い構造物。用排水路、渓流などのようにあまり流量の多くない水路の横断や溢流箇所及び、農道、人道等を横断する場合に用いられる」との記述。一見、とても難しそうな内容です。

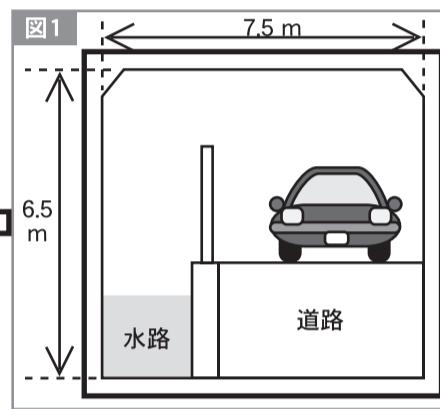
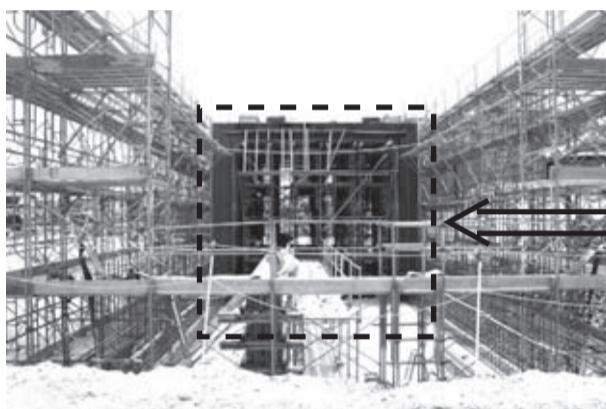
そこで、現場を管理している笠田さんにご説明を頂きました。「最初になぜ、この場所にボックスカルバートが必要かといいますと、この区間の道路は盛土を作った上に道路を作ります。そのため、北と南が道により遮断されて、車の行き来が不可能になり、水路も使えなくなります。それを防ぐために今回のボックスカルバートが必要になります。ボックスカルバートの中には、必要になる人や車が通れる道路や水路を設置します。図1を



現在の水路。工事中はこんなふうに水路を迂回させ、田畠に水が途切れないようにしているんですよ。



カルバート工の前で、佐々木建設のみなさん

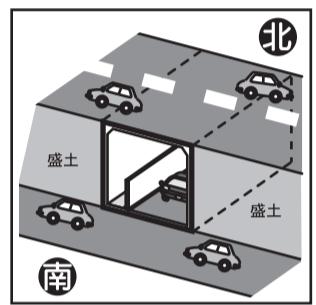


これが、ボックスカルバートの工事現場の様子。
それを説明したものが右の図1です。

ボックスカルバートの内部です。左側が水路、右側が道路で、平行に走っています。

ご覧ください、これが、ボックスカルバートの側面です。大きさ・中身がこのようになっていて、この地域の方々が南環状道路により、不便にならないための必要な道路(ボックスカルバート)となります。

その他、2種類の工事を行う予定で、1つ目は、南環状道路の盛土を止める両側の壁を作る工事です。2つ目は、法花谷地区は地盤が緩いため構造物を作るとその重みから地盤沈下していきます。それを防ぐために地盤改良工事を行っています。これから、まだまだ大変な工事が待っていますが、安全に、周辺の皆様にご迷惑をお掛けしないよう、努力していきたいという意気込みを感じました。皆さんも、工事について知りたい事がありましたら、問い合わせしてください。



ボックスカルバートの使用例です。盛土道路に作ったトンネルのようなものですね。

法花高架橋下部工事

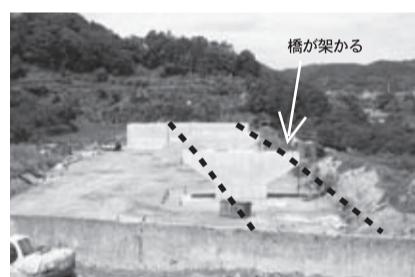
平成18~19年度工事
工期:19年11月30日まで

全長81.5メートルの法花高架橋。その橋台と橋脚を建設

法花高架橋の土台である橋台2基・橋脚2基(橋長81.5メートル)を設置する工事を行っています。6月23日現在、橋台1基・橋脚2基が完成。作業スケジュールは順調にすんでおり、残りあと橋台1基を残すのみです。

工事区域そばには、田畠の農業かんがい用水としての長田堰水路がありますが、現場で発生した湧水を流す際は、環境保全に配慮して適切に処理。

PH測定や濁度測定、沈砂タンクの利用など、最大限に濁りを抑えることに努めています。今は、稻作のもっとも重要な時期なので細心の注意をはらっています。また、工事用道路では使用時に30分ごとの散水も実施して、防塵につとめています。監理技術者の派田さんは「工事期間中、周辺の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご協力のほどよろしくお願ひいたします」。



現場の様子。一番奥が橋台、手前2つが橋脚。



宮本建設のスタッフのみなさん

切り取り線

アンケートにお答えください。



1.徳島南環状道路を知っていますか?

- a.よく知っている b.聞いたことがあるが、あまり知らない
- c.知らない

2.徳島南環状道路で知りたいことがありましたら、ご記入下さい。

3.本誌の内容について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- a.よかった b.悪かった c.どちらとも思わない

4.知りたい情報がありましたらご記入下さい。

☆アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で5名の方に道の駅にしいやの「祖谷自慢そば(生麺)」(写真)をプレゼントいたします。

◆応募方法◆あなたのご意見・ご感想といっしょに記入して応募して下さい。8月15日(水)消印有効。官製はがき・FAX・メールでも応募可能です。当選発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。FAX:088-654-9164 E-mail:tokusa41@skr.mlit.go.jp



**徳島南環状道路
頑張る男“診断カルテ”**

明日できることは今日するな!を胸に、
この世界を30年走り続けたベテラン技術者。

宮本建設
監理技術者
はだ しょうじ
派田 彰二さん

**私の今嬉しい
ベスト3**

この年にたつても子供とまだ話ができる
女子大学生の子供2人と、人生のことまで話をします。メールもときどき届きますよ。

ベスト2
昼寝
昼ごはんを食べた後、事務所のソファで休憩時間に。気持ちいいですね。

ベスト3
国道192号の
橋脚補強工事
前回手掛けた工事ですが、計算通りスムーズに遂行し、完璧な内容でした。自分の中で最高の工事です。

●年齢 52歳 ●血液型 A型
 ●趣味 ゴルフ
 ●好きな食べ物 なすびの天ぷら
 ●好きな言葉 「明日できることは今日するな!」 大学時代の恩師の言葉です。
 ●周りから自分はどう思われている? 「へんこつ」でしょう(笑)

Q.自分で自分をどう思う?
 A.最高の人間やね(笑)
 Q.この仕事の魅力
 A.人との付き合い。
 仕事で出会うさまざまな人と本音で語り合える環境づくり、そして自身の姿勢ですね。相手の気持ちをくみ取ることが、一番のやりがいです。

Q.この世界に入ったきっかけは?
 A.おじ2人の影響。
 小さい頃からよく工事の話を聞いていました。知らず知らずのうちに憧れたんだと思います。けれど、大学受験は医学部にもチャレンジしたんですよ(笑)

Q.今後の課題
 A.後継者の育成です。
 10年ほど前から、業界全体の後継者の育成を考えています。なかなか現状は厳しいですが、一刻も早く着手したいですね。



●本誌に関するお問い合わせは
国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所
 「さうすりんぐTokushima」〒770-8554 徳島県徳島市上吉野町3丁目55 TEL(088)654-9162 FAX(088)654-9164
<http://www.toku-mlit.go.jp> Eメール:tokusa41@skr.mlit.go.jp